

2020 年度 第 1 5 回さいたま市ソフトボール協会 会長旗争奪中学生大会実施要項

- 【目 的】 中学校教育の一環として生徒に広く競技する機会を与え、技術の向上と相互の親睦を図る。
- 【参加資格】 さいたま市中学校体育連盟に加入している中学校の生徒で、学校長が参加を認めたもの。
- 【期日・会場】 ○予選：リーグ戦 [会場バックネット裏 8時打合せ]
1月30日～3月7日の土日[会場：各ブロックの中学校G、荒川総合3/6.7]
荒川総合 3/6: D E F 面 3/7: D E F 面 予選で使用可
※3月7日は、審判講習会のため審判派遣不可の可能性が高い
○決勝トーナメント 【会場バックネット裏 (荒川総合D面) 8時30分打合せ】
①3月13日(土)【会場：荒川総合C D E F 面】 1回戦・準々決勝
20日(土)【会場：荒川総合C D (野球C, D) 面】 準決勝・決勝
21日(日)【会場：荒川総合C D E F 面】 予備日
27日(土)【会場：岩槻中A, B 面】 予備日
- 【主・共催】 さいたま市ソフトボール協会 さいたま市中学校体育連盟
- 【主 管】 さいたま市中学校体育連盟ソフトボール専門委員会
- 【開閉会式】 開会式：なし 閉会式：なし
- 【表 彰】 1位：表彰状・優勝旗 2位：表彰状 3位：表彰状 5位：表彰状
- 【雨天判定】 ○予選リーグ戦は各会場責任者が行う。順延の場合は会場責任者が6時にさいたま市ソフトボール協会 岡田審判長(080-6500-0862)及び鈴木(尾間木中)に連絡すること。
○決勝トーナメントは専門委員長が6時までに判定を行う。
- 【競技方法】 (1)3～4校リーグ戦で実施する。
(2)4校ブロック2位まで、3校ブロックは1位を予選通過とし、決勝トーナメントを行う
(3)各ブロック、リーグ戦を中心に実施する。雨天等で消化できない場合は、トーナメント等になっても3月7日までに代表を決定する。
(4)予選リーグ戦では、審判員は3校ブロックには最大延べ3名、4校ブロックには最大延べ6名入る。学校側から顧問・部活動サポーターが入ることも可。(審判員が派遣できない場合もあります。その場合、顧問・コーチ・保護者でお願いします)
(5)試合球は各校1個出す。
- 【競技時間】 <予選リーグ> (例)
第1試合9:00 第2試合10:40 (第3試合13:00)
<決勝トーナメント>
第1試合9:30 第2試合11:10※ 第3試合13:50※
※同じチームで試合が連続になる場合は、最初の試合終了1時間後に試合開始進行状況によっては、審判員及び両校監督、役員の話し合いにより予定より繰り上がる場合がある。
- 【その他】 ・各ブロックの会場責任者は、予選リーグの結果を鈴木(尾間木中)へFAX送信して下さい(決勝トーナメント表作成の為)
・保護者は、引率等必要な場合のみ会場に入るが、応援はなし。学校会場の場合は、その学校のルールを守ること。
・各校顧問会議までに各校の感染症対策やグラウンド割り振りについてよく確認をしておいて下さい。
・大会運営にかかわる全ての内容は感染症の状況により変わりますので、予めご了承ください。

競技（大会）規定

- (1) 適用ルール 2020年オフィシャルソフトボールルール
運用：さいたま市ソフトボール専門委員会の申し合わせ事項を併用する。
- (2) エントリー 18名 同色同型のユニフォームを着用し、1～99の背番号と胸番号を付ける
事前の了承ある時は規格外でも可。
- (3) ベンチ ベンチは予選リーグについてはブロックごとに決める。決勝トーナメントは表の
左のチームを一塁側とする。ベンチには監督1名・コーチ1名・選手18名・スコア
ラー2名引率責任者1名が入ることができる。
監督(30番)・コーチ(31番・32番)は背番号と胸番号を付けること。
男性の監督・コーチまたは部活動指導員は着帽すること。
- (4) 打順表の
提出 試合開始予定時刻の30分前(第1・3試合)第2試合は、前の試合の開始30分後
または、3回終了時に必要事項(選手の氏名ふりがな等)を記入し主将が4枚を各
グラウンドのバックネット裏へ持参する。攻守はこの時決定する。
決定時に片方の主将が来ない場合は、来ているチームの意志で決定する。
双方が来ない場合は本部で決定する。
- (5) フィールド
ディング 後攻チームより始める。時間は5分以内とする。運営の都合上、短縮・省略するこ
ともある。フィールドディングは登録メンバーだけで行い、背番号を見えるようにする
こと。ノックは背番号のある監督・コーチまたは部活動指導員のみとする。また、
シートノックの時、事故防止のため捕手や補助の選手はヘルメットを必ず着用する
- (6) 準備投球 1回または投手交代時は1分間を限度として5球以内で。それ以外は3球までと
する。1分を超えそうな時、審判員は「残り1球」と制限することができる。また、
同一イニングに再び投手に戻った場合、投球練習は出来ない。
危険防止のため、捕手はスロートガード付きマスクを着用する。
- (7) 用具・装備 打者・走者・ランナー・コーチは必ずヘルメットを着用すること。捕手は準備投球
や競技場内で投球練習の際にもヘルメット・スロートガード付きマスク・プロテ
クター・レガースを着用する。
- (8) 試合時間 原則…**70分以内とする。**70分を超えた場合でも教育的配慮で一巡するまでは
行う。試合時間終了、または7回終了時に同点の場合、予選リーグについては引き
分け、決勝トーナメントについてはタイブレーカーを行う。ただし決勝トーナメン
ト1、2回戦のタイブレーカーは1イニングのみとする。
- (9) コールド
ゲーム 3回以上10点以上、5回以上7点以上点差が生じた場合。尚、天候などにより
コールドゲームとすることもある。サスペンデッドゲームは採用しない。
- (10) 打ち合わせ <守備側の打合せ> 7イニング中に3度まで行うことができる。
8回以降、各イニングに一度に限る。
<攻撃側の打合せ> 1イニングに1度限り。
守備側、攻撃側の打合せで『タイム』を要求しないで打合せした時は審判の判断
により、『打合せ』とみなす。
- (11) 不正投球 1回目よりペナルティを課す。
- (12) 特にお願い
したいこと ①監督以外の者がメガホンを使用することの禁止
②投手が投球姿勢(セット)に入ったときは、両チーム(応援者を含む)は、応援の
ための声出しをしてはならない。
③打者はサインを見るときにボックスを外さないこと。
④フィールドディング終了後、後攻チームがグラウンド整備を行うこと。
⑤ファールボールはそれぞれのチームで処理すること。
⑥練習場所については、次に試合のあるチームを中心とすること。荒川総合運動
公園では、専門委員会が借りていない空いているグラウンドを使用しないこと。
⑦抗議権は監督にあるが、教育的配慮の下、遅延行為にならないように気をつける。
⑧棄権または没収試合のチームは、次の試合や大会には参加できない。但し、
怪我等による選手不足の棄権試合は配慮する。
⑨試合前の最終メンバー表交換の選手名簿が正式の登録選手になる。なお、
メンバー表には氏名及びふりがなや交替(補欠)選手の氏名を記入しておくこと。
⑩グラウンドでプレイ・補佐できるのは、18名の登録メンバーとする。

◆9ブロック予選結果

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1位									
2位									
3位									
4位									

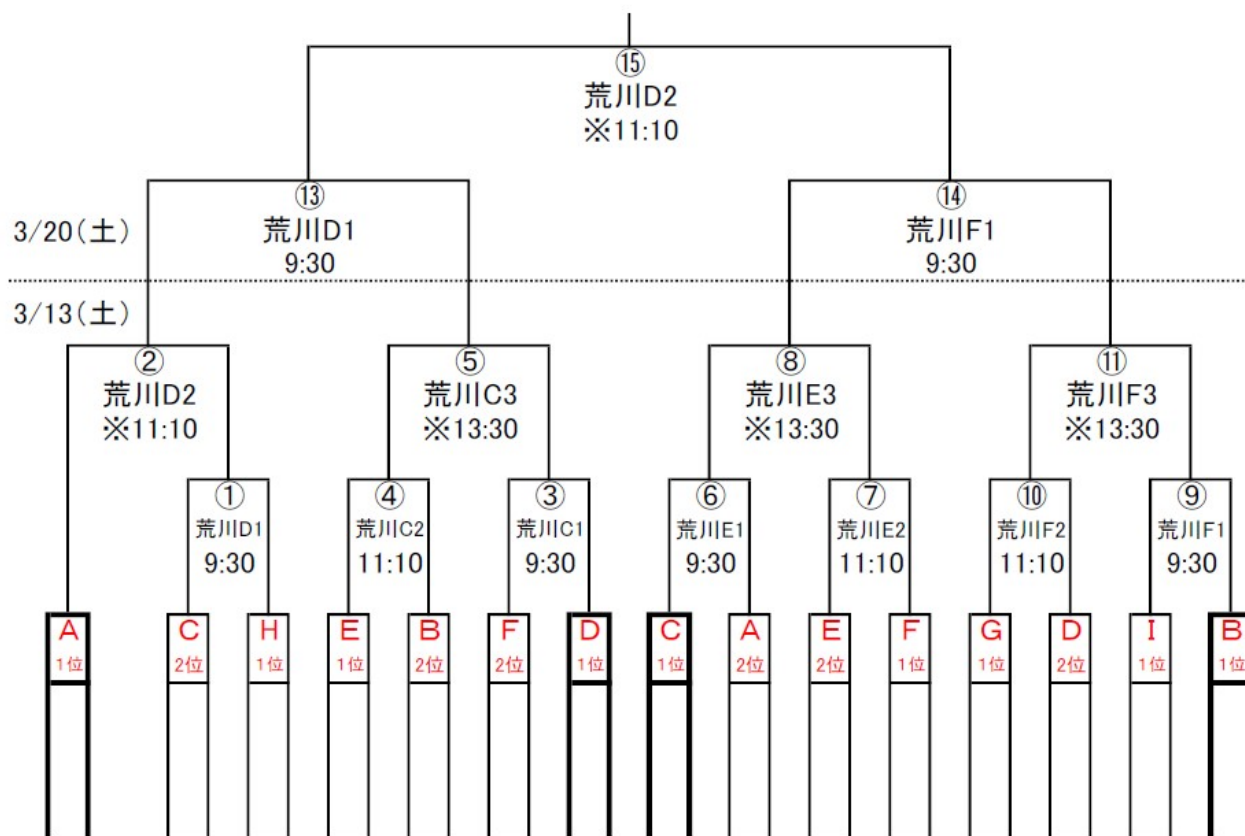
◆決勝トーナメント

①3月13日(土)【会場:荒川総合運動公園ソフトCDEF面】

②3月20日(土)【会場:荒川総合運動公園ソフトDF面 野球CD面】

予備日 3月21日(日)【会場:荒川総合運動公園ソフトDF面】

予備日 3月27日(土)【会場:岩槻中?AB面】



【試合開始予定時刻】 1試合目 9:30 2試合目 11:10 3試合目 13:30

【コート責任者】 1日目は、太枠のA1位・B1位・C1位・D1位の学校とする。

【打ち合わせ】 8時30分からDコートネット裏付近で行います。

※2回戦について

1回戦終了後30分後に打順表交換・ベンチ入り、60分後に試合開始

フィールドイングは、Aブロック1位以外はなし。

※1日目が3/20(土)実施になった場合

荒川D→荒川D 荒川C→荒川野C 荒川E→荒川野D 荒川F→荒川F